

作成日 2026 年 2 月 10 日

(臨床研究に関するお知らせ)

頰椎症性脊髄症・頰椎椎間板ヘルニア・頰椎症性神経根症・頰椎症性筋萎縮症で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学整形外科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を受け、学長の研究実施許可を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

頰椎前方除圧固定術における手術手技と臨床成績に関する多角的検討

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学整形外科学講座 学内助教 山本悠太

3. 研究の目的

頰椎前方除圧固定術は、術後に呼吸障害や嚥下障害などの重大な合併症を生じる可能性があります。頰椎前方除圧固定術における手術手技の違いが術後成績に及ぼす影響を明らかにし、より安全で効果的な手術方法を確立することを目的とします。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

頰椎症性脊髄症・頰椎椎間板ヘルニア・頰椎症性神経根症・頰椎症性筋萎縮症の患者さんで、2016年1月から2025年6月までの期間中に、頰椎前方除圧固定術の治療を受けた方

(2) 研究期間

研究実施許可日～2027年12月31日まで

(3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日

(4) 利用させて頂く試料・情報

2015年1月から西暦2026年1月の期間に診療情報に記録された情報を利用します。この研究で利用させて頂くデータは、性別、年齢、BMI、頰椎X線画像、術前情報、手術情報、術後経過となります。

(5) 方法

電子カルテから情報を利用します。単純X線画像での頰椎アライメント、可動域および、臨床スコア等に関して、2群間の差異を統計学的に分析します。手術データと術後経過との関連性を検証します。

5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 資金源及び利益相反等について

本研究に関連して開示すべき利益相反関係になる企業等はありません。

9. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学整形外科学講座

担当者：山本 悠太

住所：和歌山市紀三井寺 811-1

TEL：0734-41-0645 FAX：0734-48-3008

E-mail：y.yuuta@wakayama-med.ac.jp